



社会問題や地域課題などをテーマにした
松山東高の研究成果発表会

地域との協働集大成

松山東高生 研究成果を発表

文部科学省から「地域との協働による高校教育改革推進事業（グローバル型）」の指定を受けている松山東高（松山市持田町2丁目）でこのほど、1、2年生が研究成果発表会を開き、地域課題や社会問題と向き合った1年間の集大成を披露した。

2年生は医療、国際、食品・工学、地域の4分野に分かれてシンポジウムを開催。国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）や地域農業などの研究テーマについて発表した。

1年生は個人やグループが、同校卒業生の作家大江健三郎さんについての研究などをポスターにまとめて発表した。

松山大薬学部の武智

した。

同校は2019年度から3年間、グローバル型の指定校となり、週1回のペースで事業に関する授業を実施。県内の産官学からもサ

【紙面編集】上申祐司

ポートを受けている。発表会は10日に開催した。（渡部竜太郎）